



校長室 だより

平成29年1月10日

尼崎市立常陽中学校

校長 小谷 豪郎 No.12



心静かに年が明けて
心静かに新年の計を立てる
まずはめでたい
新春の朝である
＝松下幸之助＝

例年より少し長かった冬休みでしたが、皆さんはどのように過ごしましたか？

3年生は、受験に向けて全力で追い込み真っ最中だと思えますが、お正月は少し楽しめたのではないのでしょうか。

我が家は、90歳の母が田舎で一人暮らしをしているので、年末から帰りお正月を一緒に過ごしました。娘や息子たちは、自分たちの予定がある中、それぞれに1日～2日に祖母の顔を見に田舎に帰って来ていました。家族で新年を迎える風習は、小さい時から変わらず身につけているようです。



最近の子ども達は、お年玉はいくらくらいもらうのでしょうか？ ある調査によると小中学生で10万円を越えるような家もあるそうです。持ち慣れないお金を持つと危険です。我が家の3人の子ども達は、成人してからお年玉は無くなったので最近の状況が解りません、でも無駄使いをせずに大切に使いましょう

新年早々に嬉しい話がありました。1月4日に西昆陽交番所から学校へ電話がありました。最初は生徒たちに何かあったのか一瞬不安になりましたが、『女子バスケットボール部の生徒たち数名が部活帰りに、道に迷っていたお婆さんを親切に交番まで一緒につれて来てくれたので、お婆さんがとても感謝していました』という連絡でした。2学期にも荷物を持って地下道を案内してくれた生徒のお話をしました。今回も困っている人に自然と手を差し伸べる、本当に素晴らしいことです。

今年の干支は丁(ひのと)酉(とり)

一般的に今年の干支は酉年と言われますが、暦の名前には、十干、十二支と呼ばれる物があり正式には、丁酉となります。



昔から酉年は、「とりこむ年」と言われ運気をとりこむことにつながるので、縁起の良いものとされ、「実りのある年」と言われています。常陽中学校の生徒の皆さんが夢に向かい、その夢を実現するために大きく羽ばたいていける、そんな年になってほしいと願っています。

この時期の恒例行事

新年を迎えた1月、古くは「睦月」といいました。季節では「小寒」の時期になり1年で最も寒い「寒(かん)」にあたります。この時期には、ちょっと寒いですが冷え切った夜半に、澄みきった夜空にさえざえと星が輝いて、とてもきれいにみえることがあります。

また、7日には「春の七草」で七草粥を食べる風習があります、今年も健康でありますようにと願ってのことですが、お正月の食生活から体調を気遣って胃を休める、昔の人の知恵だと思います。



8日に兵庫県立芸術文化センターへ、兵庫県立西宮高等学校音楽科の卒業公演を聞きに行ってきました。高校3年間でもとても大人っぽくなり素晴らしい演奏を披露してくれました。そして、来週には大学受験のセンター試験があるそうで、新年を迎えても気を抜くところがない大変な毎日のようです。将来は、一流のプロの音楽家を目指し大きく羽ばたいてほしいものです。



そして、10日は「十日戎」商売繁盛で笹持てこいのかけ声で戎神社が賑わいます、最近では西宮戎神社の開門神事で境内を走り抜ける福男選びが全国的に有名です。数年前に市尼の高校生確かサッカー部の生徒だったと思いますが、1番になり福男に選ばれたことがありました。足に自信がある人は、一度挑戦してみてもいいでしょう。

1年の計は元旦にあり

終業式で、初詣は必ず行って今年一年の目標を定めて誓いを立ててきましょう、とお話ししましたがどうでしょうか？

除夜の鐘を聞いて古い年の煩惱を洗い流し、初詣で神頼みするのではなく、自分自身に「今年はこちらを頑張る」「今年はこちらに挑戦する」など新年の誓いを立てた人も多いと思います。3学期はこの学年のまとめの学期ではなく、次の学年への準備期間だと思って下さい。

3年生にとっては、私立高校入試まであと1ヶ月、その次の週には公立高校の推薦入試、特色選抜が待っています。目標にする学校も決まって、的を絞って集中して受験準備を進めていると思いますが、残りの日数を確認してここからさらに計画的に準備を進めていって下さい。

生徒会 認証式

昨年の12月9日に行われた生徒会選挙により、新しく選出された執行部の認証式が始業式に行われ、先輩たちの良き伝統を引き継ぎ、さらに高みを目指す新執行部のスタートです。

| | | |
|------|-------|--------|
| 生徒会長 | 土田 梨加 | |
| 副会長 | 柴田 悠衣 | 阿竹 真士朗 |
| 書記 | 石川 好花 | 加島 彰太郎 |
| 学年委員 | 亀沖 大和 | 牧野 祐人 |
| 美化 | 瀬川 鈴子 | |
| 保健 | 青山 大基 | |
| 文化 | 津田 幸也 | |
| 体育 | 島田 悠成 | |
| 図書 | 中島 優羽 | |
| 風紀 | 高橋 由衣 | |

【今月の言葉】

『今を最高に生きる』

先生の一番好きな言葉です。目の前のことに全力を尽くして生きて行く。

その1日1日の今の積み重ねが未来へとつながっていくのだ。